

こんにちは Vol.23

橋本ひさのりです

2013年4月発行 発行：橋本ひさのり後援会 TEL 0748-88-4887 URL <http://hisanori-hashimoto.jp>



ごあいさつ

新年度が始まり、市内では入学式や入園式も行われ、新しい一年が始まりました。松尾台に完成した新公立甲賀病院も4月2日から業務を開始し、地域医療の拠点として大きく期待されています。また、甲賀福祉作業所も3月に完成、4月10日には竣工式が行なわれました。その他にも、かもしか荘やひと・まち街道交流館が竣工するなど、各方面において新たなスタートとなりました。

3月議会では平成25年度予算を始めとする多くの議案



長年お世話になった公立甲賀病院

甲賀福祉作業所のテープカット



について審議しましたが、今回は一般会計予算を審査する予算特別委員会の委員長に選出され、4日間の集中審査と最終日での委員長報告を行なっています。また、平成25年度一般会計予算の他に各会計予算も審議、可決されました。一般会計予算は34.2億円と前年度に対し1.4%減となっており、4つの基本方針と4つの重点テーマにより構成されています。甲賀市が合併して9回目の予算編成であり、今後の市の発展につながるように頑張らなければなりません。と思っています。

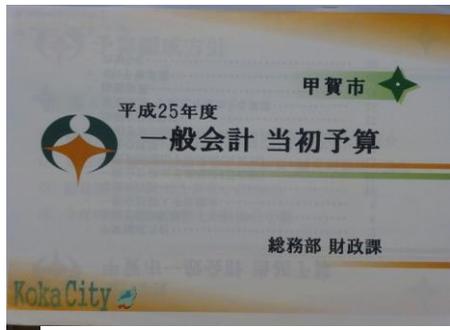
3月議会

3月議会が3月25日に閉会しました。3月議会では一般会計、特別会計、企業会計の平成25年度当初予算案件13件、人事案件1件、条例案件17件、平成24年度補正予算案件13件、指定管理者の指定5件、財産処分案件9件、鉄道資産の無償譲渡案件1件、市道の廃止及び認定案件が2件、契約案件2件、議員提案の条例改正2件、その他2件、意見書9件、請願2件の計78件の議案を審議しました。

一方、3月議会では代表質問が行われ、各会派から新年度予算や市政方針などについて質問が行われました。

新年度予算は4つの基本方針を基に編成されており、総合計画の実現を目指した重点的かつ戦略的な財源配分とともに、東日本大震災の経験を踏まえた防災・減災対策の強化が挙げられています。また、財政健全化に向けた取り組みも引き続き行なうとともに、合併特例期間を見据えた計画

的な取り組みも予算編成方針の大きな柱となっています。一方、4つの重点テーマとして①「元氣と安心、みんなで守る甲賀の暮らし」②「学びと育ち、きずなが育む甲賀の未来」③「創造と交流、進化が生み出す甲賀の活力」、④「魅力の伝承、誇りを伝える甲賀の宝」を柱に、継続事業に加え拡充された事業や新規事業が予定されています。



新年度予算概要版（市HPに掲載中）

条例案件の内、新規が9件、条例改正が7件、廃止が1件で、新規条例では自治基本条例の策定に伴う策定委員会設置の条例などがありました。条例の廃止は甲賀市同和対策審議会を人権尊重のまちづく

り審議会へ移行するため、同和対策審議会条例を廃止するものです。また、特別職の給与に関する条例の一部改正では引き続き報酬の減額が行われると共に、議員提案の条例改正でも議員報酬の減額が行われます。

平成24年度補正予算の一般会計では全体で15億2千2百万余りが増額されましたが、主なものでは国の緊急経済対策の補正予算に伴う追加で、ため池の耐震性点検や農業水利システムの整備、市道および林業の整備などです。指定管理者の指定では7月にオープンするかもしか荘の指定管理者が水口センチュリーホテルに決定した他、くすり学習館等の指定管理者が決定しました。

契約案件は甲南中学校耐震補強・大規模改造工事の契約締結と地域情報化基盤整備事業光ファイバー網敷設工事に伴う契約変更です。

各議案は審査の結果、いずれも原案通り可決しました。

一般質問

今回の一般質問では、

①男女共同参画社会の実現に向けて

②新名神高速道路活用戦略について

の2点について質問しました。一般質問についての内容は次のとおりです。

男女共同参画社会の実現に向けて

質問 男女共同参画社会の実現に向けた考え方は、

市長 計画に基づき、すべての人が平等に自分らしく生きられる社会の実現とその環境づくりを目標に各施策を推進している。

質問 地域における男女共同参画の状況は、

市民環境部長 昨年10月に自治会を対象にした実態調査を行ったが、地域ではまだまだ女性の参画が少ない。

質問 男女共同参画社会づくりに活動補助金の実施状況は、

市民環境部長 合併後8団体へ補助金を交付したが、平成21年度以降の実績はない。

質問 市の施策・方針決定過程における女性の登用状況は、

市民環境部長 平成24年度は25.3%で、目標の40%には至っていない。

新名神高速道路活用戦略について

質問 新名神高速道路活用戦略の基本方針と実行計画の概要は、

総合政策部長 新名神高速道路の活用を戦略的な施策に結びつけるため策定した活用戦略は基本方針と実行計画により構成しており、平成28年度を目標年度に市内3つのIC周辺地域の整備や観光の振興などに重点的に取り組む。特に観光振興では「忍者」を核とした観光資源のネットワーク化により魅力の向上を図る。

質問 甲賀土山IC周辺整備や土地利用も必要と考えるかどうか。

総合政策部長 甲賀土山IC周辺については平成25年度予算で周辺の土地利用の調査・検討を予定している。また、名神名阪連絡道路につい

ても整備区間となるよう、強力に要請活動を進める。

質問 こうか忍者育成事業の概要は、

総合政策部長 「忍者」という観光資源を生かすため「こうか」忍者音頭を創作し、音頭を通じて観光促進や交流につなげる。



5周年を迎えた新名神高速道路

編集後記

今年には桜の開花も早く、入学式では満開の桜が子どもたちの新入学を祝ってくれました。今年度も新たな一年が始まりました。心新たに1年間頑張りますので、皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。